

令和 6 年度 中学部 3 年 (II 課程) 国語科 年間指導計画

単位数 配当 時数	児童生徒	担当者
3/105	3年：15名	神田日向子、小菅千鶴、政貴之

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。【中2段階】 (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【中2段階】 (学・人)言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【中2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)文章を読んで事実と意見などの違いに気づくことができる。【中2段階7 (ア)(イ)(ウ)(エ)(カ)(キ)】 (思判表力)事実と意見などの違いが相手に伝わるように表現を工夫することができる。【中2段階、B7】 (学・人)自分の思いを相手に伝えようとする態度を養うことができる。【中2段階】	(知・技)事実と意見、引用と筆者の表現、地の文と会話文を理解できる。 (思・判・表)事実と筆者の考えなどを区別して作文を書くことができる。 (主学)自分の思いを伝えようとする姿勢を示すことができる。	○自己紹介文の記入・発表。 ○様々な文章の読み書き。 ○語と語の繋がりの確認。 ○接続詞の使用。 ○擬音語や擬態語の使用。 ○文末表現の工夫。 (4~7月)	○物語、ニュース、新聞、お知らせ、校内放送、自己紹介文などについて原稿を丁寧に確認して所定の用紙に清書すること。 ○客観的事実と自分の考え、引用部分と自分が表現した部分、地の文と会話文などを意識して読み書きすること。
		(知及技)長音、拗音、促音、撥音を含む語句、同音異義語などを区別することができる。【中2段階7 (ウ)(イ)】 (思判表力)長音、拗音、促音、撥音を含む語句、同音異義語などを用いて文や文章を作ることができる。【中2段階、B1】 (学・人)言葉を大切にすることを養うことができる。【中2段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音、助詞、同音異義語を正しく理解できる。 (思・判・表)言葉を正確に表記して文や文章を作ることができる。 (主学)主体的かつ丁寧に文字を書くこととする意欲を示すことができる。	○長音、拗音、促音、撥音が含まれた言葉の練習。 ○同音異義語。 (4~7月)	○長音、拗音、促音、撥音のある文や文章の音読、視写、聴写など。 ○同じ発音でも異なる意味を有する言葉を確認し、区別すること。
		(知及技)修飾語、指示語などの役割を知ることができる。【中2段階7(ウ)】 (思判表力)修飾語や指示語などで伝えたい表現を整理することができる。【中2段階、B7】 (学・人)言葉と言葉の繋がりに関心をもつことができる。【中2段階】	(知・技)修飾語・被修飾語、指示語の知識を習得することができる。 (思・判・表)修飾語や指示語を用いて会話や作文をすることができる。 (主学)言葉の繋がりを意識することができる。	○主語と述語。 ○修飾語(連体修飾語・連用修飾語)と被修飾語。 ○人称代名詞と指示代名詞。 ○接続語。 ○文章・文・文節の繋がりを。 (4~7月)	○主語と述語の係り受け。 ○修飾語と被修飾語の係り受け。 ○指示語、代名詞の用法、読解。 ○接続語の働きおよび文章・文・文節の繋がりを。 ○主語、述語、修飾語・被修飾語、接続語、指示語などを用いた文や文章の作成・読解。
2 学期	48	(知及技)自分が伝えたい内容を明確にすることができる。【中2段階7(ア)(イ)】 (思判表力)主題を提示して相手や目的に応じた発表内容にすることができる。【中2段階、A1】 (学・人)言いたいことを整理し、自分なりの表現で伝えようとする姿勢を示すことができる。【中2段階】	(知・技)「いつ・誰が・何を・どうした」等の場面を整理することができる。 (思・判・表)発表のトピックや論点を踏まえて伝えることができる。 (主学)自分の言葉で伝えようという意欲をもって学習することができる。	○発表のトピックの確認、キーワードの選定。 ○自分の考えや気持ちを整理して伝えること(手紙、葉書、作文、発表など)。 ○相手の発言内容を汲み取ること。 (9~12月)	○「いつ・誰が・何を・どうした」等を思い浮かべて発表の内容を決めること。 ○聞き手や話す目的を意識し、自分の興味関心、経験した出来事や感情などを手掛かりにして話題を決めること。 ○発表者の話をよく聞き、ワークシートにキーワードを書き留めて短文を整序すること。
		(知及技)発言時の声量や速度の大切さを知ることができる。【中2段階7(イ)】 (思判表力)場面にに応じて発声や発音に気を付けたり、声の大きさを調節したりして話すことができる。【中2段階、A1】 (学・人)人前で言葉を発する意欲をもつことができる。【中2段階】	(知・技)話をする際に必要な声量、速度、間などを理解することができる。 (思・判・表)場面にに応じて声量、速度、間を調節して発言できる。 (主学)意欲をもって学習に参加し、発表に取り組むことができる。	○文章や詩の音読。 ○出来事や発表。 ○メモや絵や写真などを手掛かりにして話をする事。 (9~12月)	○場面に合った声量での会話、聞き手に伝わりやすい速度と声量での発言・発表。 ○姿勢、口形、抑揚、声量、速度などを意識した発音。 ○絵や写真で示された事物を言葉で表すこと。
3		(知及技)敬語の種類を知ることができる。【中2段階7(カ)】 (思判表力)よく使われる敬語に注意しながら話したり書いたりすることができる。【中2段階、A7・I・I、B7】 (学・人)相手を敬う気持ちをもって言葉を使おうとする姿勢を養うことができる。【中2段階】	(知・技)尊敬語、謙譲語、丁寧語、常体と敬体に気づくことができる。 (思・判・表)立場や状況に応じて敬語の種類を使い分けすることができる。 (主学)相手を敬う気持ちをもって言葉を使うことができる。	○常体と敬体。 ○丁寧語。 ○尊敬語。 ○謙譲語。 (1~3月)	○相手や場面に合った丁寧語(「～です」「～ます」「～ございます」「～ください」「～でした」「～ました」「～ございました」「～くださいました」「～ですか」「～ますか」「～でございますか」「～くださいますか」)の使い分け、反復練習。 ○常体から敬体への言い換え、敬体から常体への言い換え。 ○簡単な尊敬表現と謙譲表現に触れること。

<p>学期</p>	<p>21</p>	<p>(知及技)様々な語句の意味や使い方を確認することができる。【中2段階(A)(イ)(ウ)(エ)】 (思判表力)使用語句や表現の種類を増やして話したり書いたりすることができる。【中2段階、B7・イ・ウ・エ・オ、C7・イ・ウ・エ・オ】 (学・人)様々な言葉に触れて学ぶ意欲をもつことができる。【中2段階】</p>	<p>(知・技)新出語句を確認し、生活での使用範囲を広げることができる。 (思・判・表)学習した語句を用いて作文や発表をすることができる。 (主学)言語を習得するために意欲的に学習に取り組み、反復練習をすることができる(視写、聴写など)。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句のある文章の音読、読解、意味の確認、会話練習など。 ○言葉の意味を説明する練習(日用品、道具、動物、公共施設、金銭、職業など)。 ○生活用語、外来語、擬音語、擬態語、同義語・対義語、上位語・下位語、同音異義語、多義語など。 (1~3月)</p>	<p>○使い慣れていない語句を発見して意味を確認すること(視写、聴写)。 ○生活場面や伝える相手に応じた文字や言葉の使い方などを確認すること。 ○絵や写真で示された事物を言葉として書くこと。</p>
<p>総時数</p>	<p>105</p>	<p>【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>			

令和 6 年度 中学部 3 年 (II 課程) 社会 年間指導計画

単位数配当時数	生徒	担当者
2/70	中学部3年II課程	當山直樹

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的ななかつどうや体験を通して人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調べまとめる技能を、身につけるようにする。(中学部2段階) (思判表力) 社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う。(中学部2段階) (学・人) 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中学部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。(中2段階ウ(ア)ア) (思判表力)過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現すること。(中2段階ウ(ア)イ) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中2段階ウ)	(知・技)ロゴマークやピクトグラム、地図記号とそれが表す内容や意味についてに知ろうとしている。 (思・判・表)ロゴマークやピクトグラム、地図記号の使い方について調べまとめて、表現しようとしている。 (主学)学習した内容について、自身の生活に結びつけて身近な所で発見しようとしている。 評価資料【ワークシート、質問や発表の様子】	・ロゴマークとピクトグラム ・地図記号 ・校外学習 (4～5月)	・ロゴマークとその名称をカード等と照合しながら一致させる。 ・ピクトグラムとその名称をカード等と照合しながら一致させ、校内のピクトグラムを探して一致させる。 ・地図記号が表す意味について、カードやワークシート、スライドショー等を活用して具体的に理解させる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知る。(中1段階オ(ア)) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階オ(イ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階ウ)	(知・技)沖縄県の本土復帰、沖縄戦について、その由来や歴史的流れを理解しようとしている。 (思・判・表)公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、にままとめて表現しようとしている。 (主学)日本への他国文化の流入や沖縄県の歴史的背景について理解し、その歴史的意義や成果を自ら見つけようとしている。 評価資料【ワークシート、質問、発表の様子】	・沖縄県の本土復帰 ・沖縄戦 ・公共施設 (5～7月)	・沖縄県の本土復帰や沖縄戦についてその歴史的背景や史実を、視覚教材を活用して調べまとめる。 ・公共施設の種類と自身の生活との関わりについて調べまとめる。
2 学期	28	(知及技)学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら、生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けること。(中2段階ア(ア)ア) (思判表力)周囲の状況を判断し、集団生活の中での自分の役割と責任について考え、表現すること。(中2段階ア(ア)イ) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中2段階ウ)	(知・技)親族呼称(父・母・兄・姉・弟・妹等)について、自身を中心に知ろうとしている。 (思・判・表)自分の親族を、親族呼称で表現しようとしている。 (主学)学習した事項について、自身の生活場面に結びつけて身近なところで発見しようとしている。 評価資料【ワークシート、質問や発表の様子】	家族構成、親族呼称 (9～12月)	・自身を中心とした、家族や親族の相関図を作成し、確認する。 ・親族呼称の種類について調べて、発表する。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子が分かること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)都道府県内における市町村の市や市町村の地形、土地利用などに着目して身近な地域や市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。(中1段階Bオ(イ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階ウ)	(知・技)自身の居住地の市町村の特色を理解しようとしている。 (思・判・表)市町村について調べた事柄についてワークシートにまとめて市町村毎の差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)自分の住んでいる地域や近隣の市区町村について学んだことを、地域社会で自ら見つけようとしている。 評価資料【ワークシート、質問、発表の様子】	沖縄県の市町村(北部圏域) 沖縄県の地理的特色 (9～12月)	・自身の居住地を中心とした北部圏域の市町村について、市町村ごとに、市町村章、市町村花木、特産品等の特色について調べまとめる。 ・沖縄県全体の地形、位置、産業や文化など、本土との違いを比較してその特色を調べまとめる。
3 学期	18	(知及技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さがわかる。(中学部1段階ア(イ)ア) (思判表力)社会生活のきまりとの関連を考え、表現すること。(中学部1段階ア(イ)イ) (学・人)社会生活について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階ウ)	(知・技)SDGs誕生の経緯、その意義について理解しようとしている。 (思・判・表)SDGsの実践例の中から実践可能な取り組みを見つけてようとしている。 (主学)SDGsについて学んだことを、生活の中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子を観察、ワークシート、質疑の様子】	SDGs (1～3月)	・SDGsが誕生した経緯と意義について調べる。 ・SDGsの実践例について、インターネットや視覚教材を使って調べまとめる。 ・自身が実践可能なSDGsは何か考え、具体的にどう取り組むか考える。
総時数	70				

令和6年度 中学部 3年(Ⅱ課程) 数学科 年間指導計画

配当時数	対象生徒	担当者
105	中学部3年Ⅱ課程	神里 広大

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。(中2段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基本的・基礎的な数量や図形の性質等を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中2段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用とする態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)10000までの整数を表し、それを用いた簡単な問題を解くことができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力)10000までの数の大小を比較することができる。(中2段階Aア(イ)) (学・人)整数の表し方の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)10000までの整数の簡単な問題を解くことができた。 (思・判・表)2つの4桁の整数を比較して、大小を答えることができた。 (主学)整数の表し方の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の表し方(4月)	・10000までの整数の読み方と書き方(復習) ・2つの整数の大小の比較(10000までの整数) ・身の回りの整数(山の標高、距離、海拔など)
		(知及技)整数の加法・減法を解くことができる。(中2段階Aイ(ア)) (思判表力)整数の加法・減法の関係性を判断し、適切な計算方法を選択することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)加法・減法の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)4位数同士の加法・減法を解くことができた。 (思・判・表)文章題から加法・減法の式を立て、解答することができた。 (主学)整数の加法・減法の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の加法・減法(5月)	・3位数同士の加法・減法(復習) ・4位数同士の加法・減法(繰り上がり有無、繰り下がり有無) ・3位数同士、4位数同士の加法・減法(距離や人数など)
		(知及技)整数の乗法・除法を解くことができる。(中2段階Aウ(ア)・エ(ア)) (思判表力)整数の乗法・除法の関係性を判断し、適切な計算方法を選択することができる。(中2段階Aウ(イ)・エ(イ)) (学・人)乗法・除法の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)1位数同士の乗法及び余りの出ない除法を解くことができた。 (思・判・表)文章題から乗法・除法の式を立て、解答することができた。 (主学)整数の乗法・除法の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の乗法・除法(6月)	・かけ算九九の文章問題(復習) ・かけ算九九と余りのでない割り算の関係性 ・割り算の問題 ・割り算の文章問題
		(知及技)小数を表し、それを用いた加法・減法を解くことができる。(中2段階Aオ(ア)) (思判表力)小数を用いた文章題から、適切な計算方法を選択することができる。(中2段階Aオ(イ)) (学・人)小数の表し方と計算の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)小数を用いた簡単な加法・減法を解くことができた。 (思・判・表)文章題から、小数の加法・減法の式を立て、解答することができた。 (主学)小数の表し方と計算の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	小数の表し方と計算(7月)	・小数同士の足し算 ・小数同士の引き算 ・小数を用いた文章問題(足し算・引き算) ・日常の中の小数(身長、体重など)
2 学期	48	(知及技)分数同士の加法・減法を解くことができる。(中2段階Aカ(ア)) (思判表力)分数を用いた文章題から、適切な計算方法を選択することができる。(中2段階Aカ(イ)) (学・人)分数の表し方と計算の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)分数同士の加法・減法を解くことができた。 (思・判・表)分数を用いた文章題から式を立て、解答することができた。 (主学)分数の表し方と計算の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	分数の表し方と計算(9月)	・分数同士の足し算 ・分数同士の引き算 ・日常の中の分数(ケーキのカットやカロリーなど)
		(知及技)方眼紙やコンパスを用いて二等辺三角形や正三角形、円を作図することができる。(中2段階Bア(ア)) (思判表力)図形の特徴(角の大きさ、辺の長さ)から図形の名称を答えることができる。(中2段階Bア(イ)) (学・人)図形で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Bウ)	(知・技)道具を用いて、二等辺三角形や正三角形、円を作図することができた。 (思・判・表)図形の特徴から図形の名称を判断することができた。 (主学)図形の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	図形について(10月)	・図形の特徴(二等辺三角形、正三角形、円) ・図形を作図(方眼紙使用) ・図形を作図(コンパス使用) ・日常の中の形(皿やボール、標識など)
		(知及技)面積について理解し、長方形や正方形の面積を求めることができる。また、分度器を用いて、角度を測定することができる。(中2段階Bイ(ア)) (思判表力)長方形・正方形の面積の大小を比較することができる。また、分度器を用いて角度を作図することができる。(中2段階Bイ(イ)) (学・人)面積と角度で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Bウ)	(知・技)長方形や正方形の面積を求めることができる。また分度器を用いて、角度を求めることができる。 (思・判・表)長方形・正方形の面積の大小を比較(主学)図形の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	面積と角度(11～12月)	・基本的な図形の名称(三角形、四角形) ・図形に関する用語の学習(直角、頂点、辺、面) ・特別な図形(正方形、長方形、直角三角形) ・図形の模写 ・日常の中にある形

3 学期	21	<p>(知及技)関係性のある数量(比例関係など)を理解し、2倍、3倍になった数値を求めることができる。(中2段階Cア(ア)) (思判表力)変化する2つの数量から関係性を判断することができる。(中2段階Cイ(イ)) (学・人)関係性のある2つの数量の単元で、学んだことを生活や学習に活用することができる(中2段階Cウ)</p>	<p>(知・技)比例関係を理解し、2つの数量の2倍、3倍の数量を求めることができる。 (思・判・表)2つの数量を比較し、それらの間にある関係性を判断することができる。 (主学)関係性のある2つの数量に関する課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト</p>	<p>関係性のある2つの数量(1~2月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比例関係のある2つの数量(正三角形の1辺の長さや周の長さなど) ・2つの数量から関係性の判断
		<p>(知及技)身の回りにおける数量を表やグラフにまとめることができる。(中2段階Dア(ア)) (思判表力)グラフや表から必要な情報を読み取ることができる。(中2段階Dイ(イ)) (学・人)データの活用で学んだ事を生活や学習に活用することができる。(中2段階Dウ)</p>	<p>(知・技)与えられた情報から表やグラフを作成することができる。 (思・判・表)表やグラフから必要な情報を読み取ることができる。 (主学)データの活用に関する課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト</p>	<p>データの活用(3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表の作成(個数調べ、誕生日調べなど) ・グラフの作成(棒グラフ、折れ線グラフ) ・表やグラフの読み取り(最大値、最小値など) ・グラフを用いた発表
総時数	105				

令和6年度 中学部 3年 (II課程) 理科 年間指導計画

単位数/配当時数	生徒	担当者
2/70	15名	大城凱

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識、技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星、水や空気の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中学部2段階) (思判表力) 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星、水や空気の性質について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想する力を養う。(中学部2段階) (学・人) 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星、水や空気の性質について見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(中学部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Aイ(ア)) (思判表力)動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)動物の活動や植物の成長と環境の関わりについて見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度、学んだことを日常生活や社会生活に生かすことができる。(中学部2段階)	(知・技)動物の活動や植物の成長と環境との関わりについての理解し、観察、実験に取り組んでいる。 (思・判・表)動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)動物の活動や植物の成長と環境の関わりについて見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料[活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子]	季節と生物(春から夏) (4月～5月)	・知っている植物や動物、興味、関心のある植物や動物の名前や特徴を発表する。 ・校内で春から夏にかけて見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・農場で夏野菜の花と果実を観察をし、成長の過程ををプリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
		(知及技)骨や筋肉のつくりと働きについての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力)人の体のつくりと運動について既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活に生かすことができる。(中2段階)	(知・技)人の体のつくりと運動について理解し、観察、実験などに取り組んでいる。 (思・判・表)人の体のつくりと運動について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料[活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子]	人の体のつくりと運動 (6月～7月)	・体の関節を動かすことで骨や筋肉のつくりについて理解する。 ・体の部位の名称についてまとめる。 ・骨格模型や人体模型で体のつくりを調べる。 ・インターネットや視覚教材で体のつくりを調べる。
2 学期	28	(知及技)月や星の特徴を調べる活動を通して、それらについての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Bウ(ア)) (思判表力)月や星について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Bウ(イ)) (学・人)月や星について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かすことができる。(中2段階)	(知・技)月や星の特徴を調べる活動を通して、それらについての基本的なことを理解し、観察、実験に取り組んでいる。 (思・判・表)月や星について疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)月や星について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料[活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子]	月と星 (9月～10月)	・月の見え方に関する実験をおこなう。 ・色々な星があることを調べる。 ・インターネットや視覚教材で月の様子や見え方、色々な星があることを調べる。
		(知及技)身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Aイ(ア)) (思判表力)動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)動物の活動や植物の成長と環境の関わりについて見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度、学んだことを日常生活や社会生活に生かすことができる。(中2段階)	(知・技)動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて理解し、観察、実験に取り組んでいる。 (思・判・表)動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)動物の活動や植物の成長と環境の関わりについて見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料[活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子]	季節と生物(秋～冬) (11月～12月)	・学校や近隣の川などに飛来する冬鳥を観察する。 ・校内で秋の植物や昆虫などの様子を観察し、プリントにまとめる。 ・農場でキャベツなどの冬野菜の生長を観察し、プリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
3 学期	18	(知及技)水や空気の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Cア(ア)) (思判表力)水や空気の性質について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Cア(イ)) (学・人)水や空気の性質について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かすことができる。(中2段階)	(知・技)水や空気の性質について理解し、観察、実験に取り組んでいる。 (思・判・表)水や空気の性質について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)水や空気の性質について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料[活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子]	水や空気と温度 (1月～3月)	・水の状態変化(水→水→水蒸気)の実験を行う。 ・水鉄砲や紙玉鉄砲で水や空気の性質を利用した実験を行う。 ・インターネットや視覚教材で実験動画を視聴し、水と空気の特徴を調べる。
総時数	70				

令和6年度 中学部 3年Ⅱ課程 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	学習グループ	担当者
2/70	中学部3年Ⅱ課程	瀬長英太

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(中2段階) (学・人)創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)形や色などの特徴について知るとともに、材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材料や用具を選んで使うことができる。(中1A表イ共イ) (思判表力)経験したことや思ったことを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をすることができる。自分たちの作品や制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気づき、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1A表イB鑑イ共イ) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、表現する喜びを味わうことができる。	(知・技)形や色などの特徴を知り、材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材料や用具を選んで使うことができる。 (思・判・表)経験したことや思ったことを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をすることができる。自分たちの作品や制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気づき、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主学)楽しく美術の活動に取り組み、表現する喜びを味わうことができる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	描く活動 ・テーマの選定 ・自分の好きな物 ・身近にある仕事 ・親の仕事 (4～5月) 【用具等】画用紙、鉛筆、絵の具、水性ペン、色鉛筆、クレヨン等	「仕事・職業」をテーマに、描画表現する。 ・身近にある職業について調べる。 ・親の仕事について調べる。 ・iPadで気になる職業について調べる。 ・調べた物や画像などを基にスケッチする。 ・下書き、彩色 ・作品鑑賞
		(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解すること。(中2段階共通A(7)) (思判表力)造形的な特徴などから全体のイメージを捉える。(中2段階共通A(1)) (学・人)創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する気持ちを持つ。(中2段階ウ)	(知・技)陶芸粘土の特徴を理解し、用具を安全に扱い、表したいことに合わせて表し方を工夫している。 (思・判・表)造形的な特徴を理解し、完成についてイメージをしている。 (主学)美術の授業に積極的に取り組んでいる。自分や友達の作品や制作について思ったことを話したりする。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	つくる活動 陶芸 「使いたくなる焼き物」 (6月)	いつも使っているお皿やお茶碗に目をむけ、自分で使いたくなるような焼き物をつくる。 ・身近にある焼き物 ・世の中にある焼き物 ・沖縄の焼き物 焼き物の成型方法について学ぶ
		(知及技)自分たちの作品や美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(7)) (思判表力)表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(1)) (学・人)美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにする。(中2段階ウ)	(知・技)自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さについて、自分の感じたことを話したりする。 (思・判・表)表し方や材料による印象の違いなどに気付いて話したりする。 (主学)作品を見ることを楽しんでいる。感じたことを話したりする。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	鑑賞 飾る活動 (7月)	・各授業の制作過程での鑑賞 ・各単元のまとめ 完成作品の鑑賞 ・自分の作品に関する発表、友達の作品の鑑賞 ・校内展示
2 学期	28	(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表す。(中2段階Aア(1)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想を深める。(中2段階Bア(1)) (学・人)創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する気持ちを持つ。(中2段階ウ)	(知・技)表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使い、計画的に表している。 (思・判・表)経験したことを基に、表し方を考えて、発想や構想を深めている。 (主学)美術の活動に楽しく積極的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	描く活動 版画 ・木版画 ・コラグラフ ・紙版画 「体験を表す」(9～10月)	経験したことや思ったこと、材料などを基に内発的に表したいことを見出し版画表現する。 ・彫刻刀の安全な使い方を学ぶ。 ・木版画の特徴と製作工程を理解する。 ・主題を決めて版に下書きする。 ・彫刻刀の種類や使い方に気をつけて彫る。 ・版にローラーでインクをつけてプレス機で刷る。
		(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表す。(中2段階Aア(1)) (思判表力)造形的な特徴などから全体のイメージを捉えることを理解する。(中2段階共通A(1)) (学・人)創造活動の喜びを味わう。(中2段階ウ)	(知・技)形や色彩、材料の特徴を生かし計画的に表している。 (思・判・表)顔の構成を理解し、表情などイメージをもって表現している。 (主学)美術の活動に楽しく積極的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	つくる活動 いるんな材料で繋げる、くっつける (11～12月)	木や紙、割り箸などの材料を繋げて造形する。 造形した物に和紙を貼り付けて、光をあてる。 紙の特徴を生かして造形する。
		(知及技)自分たちの作品や美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(7)) (思判表力)表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(1)) (学・人)美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにする。(中2段階ウ)	(知・技)自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さについて、自分の感じたことを話したりする。 (思・判・表)表し方や材料による印象の違いなどに気付いて話したりする。 (主学)作品を見ることを楽しんでいる。感じたことを話したりする。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	作品鑑賞 飾る活動 (12月)	毎時間の作品、制作の振り返り 校内への作品展示
3 学期	18	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解するとともに、材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2A表イ、共イ) (思判表力)自分たちの作品や造形作品、美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、造形的な特徴からイメージを捉えることができる。(中2B鑑イ、共イ) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。	(知・技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解するとともに、材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。 (思・判・表)自分たちの作品や造形作品、美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、造形的な特徴からイメージを捉えることができる。 (主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	面白写真をとってみよう 【iPad・iPod、モニター、プリンター、画用紙、糊、はさみ】 (1～2月)	・遠近法や写真加工の面白さを体験する。 ・映した写真に文字やイラストをいれる。 ・描いた物やつくった物を校内に配置して物語性を意識して写真を撮る。

	<p>(知・技)自分たちの作品や美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(7)) (思・判・表力)表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(イ)) (学・人)美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにする。(中2段階ウ)</p>	<p>(知・技)自分の作品を丁寧にまとめ綴ることで、よさや面白さを話したりする。 (思・判・表)表し方や材料による印象の違いなどに気付いてその違いを話したりする。 (主学)作品を見ることを楽しんでいる。表現の違いなど感じたことを話したりする。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>作品集づくり (3月)</p>	<p>年間の作品や写真を製本し、自身の制作活動を振り返る。</p>
総時数	70			

令和 6年度 中学部 3年 (II課程) 音楽 年間指導計画

単位数 / 配当時間	児童生徒	担当者
2/70	中学部3年II課程	山口聡子

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽作り、身体表現の技能を身に付けるようにする。【中2段階】 (思判表力)音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。【中2段階】 (学・人)主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。【中2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解することができる。(中2段階A表現ア(イ)㉔) (思判表力)音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことができる。(中2段階A表現ア(ウ)) (学・人)主体的に楽しく音や音楽に関わろうとする態度を養うことができる。(中2段階ウ)	(知・技) 歌詞の内容に合わせて表情を変化させながら歌唱しようとしている。 (思・判・表)歌詞の内容や曲想を理解し、イメージをもって歌おうとしている。 (主学)楽曲の美しさを味わって歌唱しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	イメージを広げて歌唱しよう ・歌唱 ・手話表現 ・身体表現 (4～7月)	歌唱 「発声練習」 「校歌」 「季節、行事の歌」、他
		(知及技) 表したい音楽表現するために必要な器楽、音楽づくりの技能を身に付けることができる。(中2段階ア) (思判表力)曲や演奏のよさを見いだしながら、音楽を味わうことができる。(中2段階イ) (学・人)主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しむ態度を養うことができる。(中2段階ウ)	(知・技) 簡単な記号の意味を理解し、曲の流れを止めずに演奏しようとしている。 (思・判・表)教師の模倣やリズムや速度を理解して自分なりの表現をしようとしている。 (主学)協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	楽器を演奏しよう リズムを表現しよう (4～7月)	器楽演奏 創作リズム 「CUPS」 「手拍子アンサンブル」、他
		(知及技) 表したい音楽表現に身体表現の技能を身に付けることができる。(中2段階ア) (思判表力)曲の雰囲気や音楽の構造を理解して聴くことができる。(中2段階B鑑賞(イ)) (学・人)様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うことができる。(中2段階ウ)	(知・技) 曲想と音楽の構造等に関わりについて理解している。 (思・判・表)楽器の音色や楽曲の特徴や由来に興味を持ち、曲の美しさを味わって鑑賞している。 (主学)集中して観たり聴いたりすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	郷土の音楽に親しもう (6・7月)	鑑賞 「さとうきび畑」 「いのちのリレー」 「鳥唄」、他
2 学期	28	(知及技) 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図について理解することができる。(中2段階A表現(ア)) (思判表力)曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりをもつことができる。(中2段階A表現ア(イ)㉔) (学・人)歌詞やリズム、発音の仕方に気をつけて歌唱する態度を養うことができる。(中2段階A表現ア(ウ))	(知・技) 歌詞の内容に合わせて表情を変化させながら歌唱しようとしている。 (思・判・表)歌詞の内容や曲想を理解し、イメージをもって歌おうとしている。 (主学)楽曲の美しさを味わって歌唱しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	歌詞の情景や曲想に相応しい歌い方を工夫しよう (9～12月)	歌唱 ・沖繩の歌、民謡 ・季節や行事の音楽、他
		(知及技) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら意図を理解することができる。(中2段階A表現イ(ア)) (思判表力)曲想と音楽の構造を意識して、音楽を味わうことができる。(中2段階A表現イ(イ)) (学・人)打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して演奏する態度を養うことができる。(中2段階A表現イ(ウ)㉔)	(知・技) 音の長さやシンコーポーションのリズムの違いに気をつけながら演奏しようとしている。 (思・判・表)音の長さを理解し、簡単な楽譜を見てリズムや速度を理解しようとしている。 (主学)協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	臨時記号に気をつけながら演奏しよう (10～12月)	器楽 ・沖繩の音楽 ・季節や行事の音楽 ・日本、世界の音楽、他
		(知及技) 鑑賞についての知識を得たり、曲のよさを味わって聴くことができる。(中2段階B鑑賞(ア)) (思判表力)音や音楽を味わって聴くことができるようにすることができる。(中2段階イ) (学・人)様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うことができる。(中2段階ウ)	(知・技) 曲の構造等に関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表)楽器の音色や鳴らし方に興味を持ち、曲の美しさを味わって鑑賞することができた。 (主学)集中して観たり聴いたりすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	楽器の音色を聴いてみよう 郷土の音楽に親しもう (10～12月)	鑑賞 ・季節や行事の音楽 ・沖繩やその他の音楽
3 学期	18	(知及技) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、思いや意図をもつことができる。(中2段階A表現ア(ア)) (思判表力)曲名や曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。(中2段階A表現ア(イ)㉔) (学・人)曲想と歌詞の表す情景やイメージとのかわりを理解することができる。(中2段階A表現ア(イ)㉔)	(知・技) 歌詞の内容に合わせて表情を変化させながら歌唱しようとしている。 (思・判・表)歌詞の内容や曲想を理解し、イメージをもって歌おうとしている。 (主学)楽曲の美しさを味わって歌唱しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	声の調和を考えよう (1～3月)	歌唱 「お正月」 「十二支の歌等お正月を題材にした歌」 「卒業の歌」、他
		(知及技) リズムの特徴や曲想を感じ取り、音楽づくりを身に付けようとするができる。(中2段階A表現ウ) (思判表力)曲想と音楽構造のよさを見いだしながら、音楽を味わうことができる。(中2段階A表現ウ(イ)㉔) (学・人)友達や楽器の音や伴奏を聴いてリズムや速度に合わせて演奏することができる。(中2段階A表現ウ(ウ)㉔)	(知・技) 音楽用語やリズムの特徴の意味を理解し、曲の流れを止めずに演奏しようとしている。 (思・判・表)音の長さを理解し、簡単な楽譜を見てリズムや速度を理解しようとしている。 (主学)協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	友達に合わせて演奏しよう (1～3月)	器楽 「ミッキーマウスマーチ」 その他行進曲
		(知及技) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。(中2段階B鑑賞(ア)) (思判表力)曲想と音楽の構造等との関わりについて理解することができる。(中2段階B鑑賞(イ)) (学・人)様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うことができる。(中2段階ウ)	(知・技) 曲想と音楽の構造等に関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表)楽器の音色や鳴らし方、楽曲の特徴や由来に興味を持ち、曲の美しさを味わって鑑賞しようとしている。 (主学)集中して観たり聴いたりすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	楽器や音色の特徴に気付いて鑑賞しよう (1・3月)	鑑賞 「春」 「卒業式の歌」
総時数	70				

令和6年度 中学部 3年保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒		担当者		
105	中学部3年Ⅱ課程		屋良愛		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた行い及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中2段階) (学・人)各種の運動に積極的に取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進と回復に進んで取り組む態度を養う。(中2段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方がわかり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすること。(中2段階ア) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自分やグループの課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中2段階イ) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動すること。(中2段階ウ)	(知・技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方がわかり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めようとしている。 (思・判・表)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自分やグループの課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表や記録で評価する。	A体づくり運動 (4～5月)	○体力テスト 50m走、100m走、握力、ボール投げ、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、持久走等 ○体力作り ・ウォーキング、ランニング、サーキットトレーニング等
		(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うこと。(中2段階) (思判表力)球技についての自分やチームの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中2段階) (学・人)球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動すること。(中2段階)	(知・技)球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表)球技についての自分やチームの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	E球技 (6～7月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡易化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティールボールなどを基に簡易化されたゲーム。
		(知及技)ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりすること。(中2段階ア) (思判表力)ダンスについての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中2段階イ) (学・人)ダンスに積極的に取り組み、友達のを認め助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動すること。(中2段階ウ)	(知・技)ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりしようとしている。 (思・判・表)ダンスについての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)ダンスに積極的に取り組み、友達のを認め助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。 【評価資料】【評価資料】活動の様子、感想発表で評価する。	Gダンス (4～3月)	○音楽やリズムと動き ・特体連体育大会で踊るダンスを覚える。弾む動きにねじる、回るなどの動きを入れて変化を付けたり、素早い動きやストップなどでリズムの変化をつけたりして続けて踊る。 ※ダンスは年間を通して指導する。
		(知及技)体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けること。(中2段階) (思判表力)自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中2段階) (学・人)健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)	(知・技)体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養おうとする。 【評価資料】学習の様子、ワークシートで評価する。	H保健 (4～3月)	○気持ちや意欲的であること、元気なこと、具合の悪いところがないこと、などの心と体の調子がよい状態にあることを理解し実践しているか発問、観察等。 ○友達や体調の変化やけがをした際に、教師に伝えたりし、施設や用具の安全な使い方を知り、けがのないように気を付けて行動したりすることができるようにすること。 ○不安や悩みなどがあるときには、家族や教師、友達などと話したり、相談したりすること、友達と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりすることなど心の健康について。 ※保健は年間を通して指導する。

2 学期	48	<p>(知・技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階ア)</p> <p>(思判表力) 水泳運動についての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者へ伝えること。(中2段階イ)</p> <p>(学・人) 水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすること。(中2段階ウ)</p>	<p>(知・技) 水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 水泳運動についての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者へ伝えようとしている。</p> <p>(主学) 水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子、感想発表や記録、学習カードで評価する。</p>	D水泳運動 (9～10月)	<p>○呼吸をしながらの泳ぎ</p> <p>・補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。</p> <p>・補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと。</p> <p>○補助具を使ったクロールや平泳ぎのストローク</p> <p>・補助具を使って、手を左右交互に前に出し、水をかくクロールのストロークや、手の平を下向きにそろえ両手を前方に伸ばし、水をかく平泳ぎのストロークをすること。</p>
		<p>(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けること。(中2段階ア)</p> <p>(思判表力) 陸上運動についての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者へ伝えること。(中2段階イ)</p> <p>(学・人) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすること。(中2段階ウ)</p>	<p>(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 陸上運動についての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者へ伝えようとしている。</p> <p>(主学) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。</p> <p>【評価資料】学習の様子や発表、記録で評価する。</p>	C陸上運動 (9～10月)	<p>○短距離走・リレー</p> <p>・50m～100m程度の短距離走</p> <p>○長距離走</p> <p>・一定の時間や距離を決めて、個々のタイムなどの目標を目指しながら走り続けること。</p>
		<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うこと。(中2段階ア)</p> <p>(思判表力) 球技についての自分やチームの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中2段階イ)</p> <p>(学・人) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすること。(中2段階ウ)</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。</p> <p>(思・判・表) 球技についての自分やチームの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。</p> <p>【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	E球技 (11～12月)	<p>○基本的な動きや技能</p> <p>・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。</p> <p>○簡易化されたゲーム</p> <p>・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡易化されたゲーム。</p>
3 学期	21	<p>(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けること。(中2段階ア)</p> <p>(思判表力) 陸上運動についての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者へ伝えること。(中2段階イ)</p> <p>(学・人) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすること。(中2段階ウ)</p>	<p>(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 陸上運動についての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者へ伝えようとしている。</p> <p>(主学) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。</p> <p>【評価資料】学習の様子や発表、記録で評価する。</p>	C陸上運動 (1～2月)	<p>○長距離走、駅伝</p> <p>・一定の時間や距離を決めて、個々のタイムなどの目標を目指しながら走り続けること。</p>
		<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うこと。(中2段階ア)</p> <p>(思判表力) 球技についての自分やチームの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中2段階イ)</p> <p>(学・人) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすること。(中2段階ウ)</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。</p> <p>(思・判・表) 球技についての自分やチームの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。</p> <p>【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	E球技 (1～2月)	<p>○基本的な動きや技能</p> <p>・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。</p> <p>○簡易化されたゲーム</p> <p>・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡易化されたゲーム。</p>
		<p>(知・技) 武道の楽しさや喜びに触れ、その行い方や伝統的な考え方を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開すること。(中2段階ア)</p> <p>(思判表力) 武道についての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中2段階イ)</p> <p>(学・人) 武道に積極的に取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすること。(中2段階ウ)</p>	<p>(知・技) 武道の楽しさや喜びに触れ、その行い方や伝統的な考え方を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 武道についての自分やグループの課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 武道に積極的に取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。</p> <p>【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	F武道 (2～3月)	<p>○基本動作(空手道)</p> <p>・空手の内容は、「基本」「型」「組手」の3つに分かれる。基本動作を反復して行う。</p> <p>・オリンピック代表選手など空手有段者の動画を視聴。</p>
総時数	105				

令和6年度 中学部3年 (Ⅱ課程グループ) 外国語 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
35	中学部3年Ⅱ課程	島袋 耕全

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。【中段階】 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。【中段階】 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【中段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりしようとすることができる。【中段階(1)(ア)】 (思判表力) 簡単な挨拶をし合う活動をする。【中段階(2)(ウ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技) 英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりしている。 (思・判・表) 簡単な挨拶をし合う活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【自己紹介】 【アルファベット】 ・挨拶しよう ・自己紹介をしよう ・名札をつくろう (4～5月)	・英語でのあいさつを知り、発音する。 ・自分の名前の文字、スペルを知る。 ・アルファベットで自分の名前を書いて名札を作る。 ・簡単なゲームを通して、単語と意味のマッチングし、音や使い方を定着させる。
		(知及技) 英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりしようとする。【中段階(1)(ア)】 (思判表力) 例事を見ながら自分の名前を書き写そうとすることができる。【中段階(1)(イ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技) 英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりしている。 (思・判・表) 例事を見ながら自分の名前を書き写そうとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【like, don't like】 ・好きを表す単語を知ろう (6～7月)	・自己紹介の表現を知り、発音する。(My name is～or I am ～, I like～, I don't like～) ・自己紹介の内容を聞きとることができる。
		(知及技) 対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとする。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じる活動をする。【中段階(2)(ウ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技) 対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしている。 (思・判・表) ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じる活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【5W,1H】 ・たずねてみよう。 ・好きなものなどについてたずねよう。 (6～7月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、たずねる。 ・簡単な単語や表現を使ってお互いのことを伝え合う。
2 学期	14	(知及技) 対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとする。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(2)(ア)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技) 対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしている。 (思・判・表) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【Summer Vacation】 ・夏休みの思い出についてスピーチしよう 【1学期の振り返り】 ・1学期に学んだことを思い出そう 【Can, Can't】 ・できる、できないについて知ろう。 (9月)	・他者に配慮しながら、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。 ・1学期に学習した内容の復習。 ・「Can」の意味を理解する。 ・「Can't」の意味を理解する。
		(知及技) 日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) 身近で具体的な事柄に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をする。【中段階(2)(イ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技) 日本と外国の言語や文化に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 身近で具体的な事柄に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【季節の行事】 ・ハロウィン ・感謝祭 ・クリスマス (10～12月)	・写真などを見て、他国の季節の行事について知る。 ・季節の行事に関する表現や単語の学習をする。

		(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ることができる。【中段階(1)ウ】 (思・判・表)身近な事物を表す文字を書く活動ができる。【中段階(2)工】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表)身近な事物を表す文字を核活動をしようとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【This is for you】 ・カードを贈ろう (11~12月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、カードを書く。 ・他者に配慮しながら、簡単な単語や表現を使ってカードで季節のあいさつをする。
3 学 期	9	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとするところができる。【中段階(2)イ】 (思・判・表)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(1)ア】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとするところしている。 (思・判・表)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【Winter Vacation】 ・冬休みの思い出についてスピーチしよう。 【2学期の振り返り】 ・2学期に学んだことを思い出そう 【将来の夢・職業】 【want to be~】 ・「~になりたい」と表現する (1~2月)	・他者に配慮しながら、冬休みに行った場所や食べたもの、楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。 ・2学期に学習した内容の復習。 ・将来の夢や職業に関する単語や表現を学習する。 ・将来の夢や職業に関する単語を調べる。 ・将来の夢や職業、その理由などを伝える、もしくはスピーチをする。
		(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。【中段階(1)イ】 (思・判・表)身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をするところができる。【中段階(2)イ】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表)身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【季節の行事】 ・バレンタイン ・卒業 (2~3月)	・写真などを見て、他国の季節の行事について知る。 ・季節の行事に関する表現や単語の学習をする。
		(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ることができる。【中段階(1)ウ】 (思・判・表)身近な事物を表す文字を書く活動ができる。【中段階(2)工】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表)身近な事物を表す文字を書く活動をしようとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【This is for you】 ・カードを贈ろう (3月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、カードを書く。 ・他者に配慮しながら、簡単な単語や表現を使ってカードで季節のあいさつをする。 ・学校生活や行事に関する単語や表現の学習する。 ・他者に配慮しながら、学校生活で楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。
総時 数	35				

令和 6年度 中学部3年 (II課程) 職業・家庭 (家庭班) 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
6/210	中学部3年II課程	宮城 三幸

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。【中2段階】 (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。【中2段階】 (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。【中2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)働くことの意味などを理解することができる。【中2段階ア(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【中2段階ア(イ)】 (学・人)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階ア(ア)】	(知・技)働くことについて関心をもち、作業や実習に取り組もうとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもち、自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返りシート)や活動の様子で評価する。	・オリエンテーション (4月)	・授業開き、教室や用具の使用心得
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方を理解することができる。【中2段階A(ア)工】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について考えて発表することができる。【中2段階A(イ)ア】 (学・人)他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。【中2段階ウ】	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方を理解することができる。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について考え、発表しようとしている。 (主学)他者と協力し、進んで作業に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・縫製実習 (4～3月)	・基礎縫い、スウェーデン刺しゅう、小物づくり
		(知及技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切に活動することができる。【中2段階Bウ家庭分野】 (思判表力)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫することができる。【中2段階Bウ家庭分野】 (学・人)自ら調理計画を立て、計画に沿って調理を行うことができる。【中2段階ウ】	(知・技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切に活動しようとしている。 (思・判・表)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫しようとしている。 (主学)自ら調理計画を立て、計画に沿って調理を行うとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・調理実習 (5～3月)	・計量、アイスボックスクッキー、マフィン
2 学期	84	(知及技)職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。【中2段階Bア】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。【中2段階Bイ】 (学・人)進んで製作活動に取り組むことができる。【中2段階ウ】	(知・技)職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れようとしている。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを他者に伝えようとしている。 (主学)進んで製作活動に取り組もうとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返りシート)や活動の様子で評価する。	・パソコンにふれてみよう (9月)	・マウスを使おう、インターネットを見てみよう
		(知及技)快適な住まい方や安全について理解し、実践することができる。【中2段階Bオ家庭分野】 (思判表力)季節の変化に合わせた快適な住まい方に気付き、工夫することができる。【中2段階Bオ家庭分野】 (学・人)進んで身の回りのものを整理整頓しよとする実践的な態度を養うことができる。【中2段階ウ】	(知・技)快適な住まい方や安全について理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)季節の変化に合わせた快適な住まい方に気付き、工夫しようとしている。 (主学)進んで身の回りのものを整理整頓しようとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返りシート)や活動の様子で評価する。	・快適で安全な住まい方 (10～12月)	・整理整頓、清掃、災害から身を守る
		(知及技)職業や進路に関わることについて調べて、理解することができる。【中2段階C(ア)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表することができる。【中2段階C(イ)】 (学・人)他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。【中2段階ウ】	(知・技)職業や進路に関わることについて調べて、理解しようとしている。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表しようとしている。 (主学)他者と協力し、進んで作業に取り組もうとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返りシート)や活動の様子で評価する。	・校内実習 (10月)	・チラシ、ポスター製作 ・スライドショー製作
3 学期	54	(知及技)生活に必要な物の選択や扱い方について理解し、実践することができる。【中2段階Cア家庭分野】 (思判表力)生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすることができる。【中2段階Cイ家庭分野】 (学・人)生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践することができる。【中2段階ウ】	(知・技)生活に必要な物の選択や扱い方について理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫しようとしている。 (主学)生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返りシート)や活動の様子で評価する。	・買い物学習、販売学習 (10～12月)	・お金の学習、計算、支払い方法、接客マナー
		(知及技)健康管理や余暇の過ごし方について理解し、実践することができる。【中2段階Aウ家庭分野】 (思判表力)望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現することができる。【中2段階Aウ家庭分野】 (学・人)望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方を工夫することができる。【中2段階ウ】	(知・技)健康管理や余暇の過ごし方について理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現しようとしている。 (主学)望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方を工夫しようとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返りシート)や活動の様子で評価する。	・家庭生活における余暇 (1～2月)	・自分の生活について知る、自分に合った健康管理
		(知及技)接客マナーについて学び、関心を持つことができる。【中1段階ア】 (思判表力)接客マナーを意識して、丁寧な言葉で接客することができる。【中1段階イ】 (学・人)販売学習に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中1段階ウ】	(知・技)接客マナーについて学び、関心を持とうとしている。 (思・判・表)接客マナーを意識して、丁寧な言葉で接客しようとしている。 (主学)販売学習に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返りシート)や活動の様子で評価する。	・買い物学習、販売学習 (1～3月)	・学校近くのコンビニエンスストアでの買いもの学習、自分達が製作・調理した物を販売する
総時数	210				

令和6年度 中学部 3年（Ⅱ課程） 職業・家庭（農園班） 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
6/210	中学部3年Ⅱ課程	新里夏菜

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)働くことに関する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中2段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中2段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)働くことの目的などを理解することができる。【中2段階Aア(ア)】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考え、発表することができる。【中2段階Aイ(イ)】 (学・人)これまでの体験や経験を生かしながら話し合い活動に取り組むことができる。	(知・技)働くことの目的などを理解することができる。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考え、発表することができる。 (主学)これまでの体験や経験を生かしながら話し合い活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表で評価する。	オリエンテーション (4月)	・働く目的について ・一年間の作業内容 ・栽培する野菜や草花 ・作業の心得 ・身なりの確認
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。【中2段階Aイ(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【中2段階Aア(イ)】 (学・人)他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができた。 (主学)他者と協力し、進んで作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	野菜や草花の栽培及び販売 (ナス、ピーマン、オクラ、サルビア、マリーゴールド等) (4～7月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・野菜の肥培管理 ・灌水、施肥、除草 ・野菜の収穫及び販売準備 ・収穫、計量、袋詰め、販売 ・草花の栽培 ・播種、鉢上げ、定植、施肥、観察 ・販売学習 ・接客マナー、金銭学習 ・緑化活動 ・草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方を理解することができる。【中2段階Aイ(ア)】 (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。【中2段階Aイ(イ)】 (学・人)協力して作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方を理解することができた。 (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができた。 (学・人)協力して作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	分担区清掃(4～7月)	・清掃の意義 ・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができる。【中2段階Aイ(ア)】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考え、発表することができる。【中2段階Aイ(イ)】 (学・人)売上金を活用し、予算を考えて買い物学習に取り組むことができる。	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができた。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考え、発表することができた。 (主学)売上金を活用し、予算を考えて買い物学習に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	身近な職業について① (7月)	・身近な職業調べ ・将来身に付けた力について ・働く目的 ・近くのコンビニを利用した買い物学習
		(知及技)職業生活に必要な知識や技能を理解することができる。【中2段階Aイ(ア)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表することができる。【中2段階Cイ】 (学・人)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを発表することができる。	(知・技)職業生活に必要な知識や技能を理解することができた。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表することができた。 (主学)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを発表することができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	反省会 (7月)	・一学期の反省会 ・一学期の振り返りの発表
84		(知及技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解することができる。【中2段階Aイ(ア)】 (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について、考えて、工夫することができる。【中2段階Aイ(イ)】 (学・人)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階Aア(ウ)】	(知・技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解することができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について、考えて、工夫することができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	野菜や花の栽培(キャベツ、ブロッコリー、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ガゼニア、サルビア等) (9～12月) 校内実習 (10月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・農場整備 ・畝立て、マルチシート張り、植え穴開け、敷き草敷き ・野菜の播種、鉢上げ、灌水、定植、施肥 ・草花の播種、鉢上げ、灌水、定植、施肥 ・緑化活動 ・草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方を理解することができる。【中2段階Aイ(ア)】 (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。【中2段階Aイ(イ)】 (学・人)進んで作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方を理解することができた。 (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができた。 (学・人)進んで作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	分担区清掃(9～12月)	・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃 ・窓清掃
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。【中2段階Bア】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。【中2段階Bイ】 (学・人)これまでの活動を振り返り、ポスターやスライドショー製作に生かすことができる。	(知・技)コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができた。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができた。 (主学)これまでの活動を振り返り、ポスターやスライドショー製作に生かすことができた。 【評価資料】活動の様子、作品、授業態度で評価する。	コンピュータ等を使った実習 (9～10月)	・コンピュータやタブレット端末の基本操作 ・アプリケーションを用いた製作活動(チラシ・ポスター作成、スライドショー作り) ・情報モラル

		<p>(知・技)職業や進路に関わることについて調べて、理解することができる。【中2段階Cア】</p> <p>(思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表することができる。【中2段階Aイ(イ)】</p> <p>(学・人)事業所見学を通して、自らの進路に興味をもつことができる。</p>	<p>(知・技)職業や進路に関わることについて調べて、理解することができる。</p> <p>(思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表することができた。</p> <p>(主学)事業所見学を通して、自らの進路に興味をもつことができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>身近な職業について② (11月)</p>	<p>・身近な職業とこれまで学習したことの関わりについて</p> <p>・事業所見学</p>
		<p>(知・技)職業生活に必要な知識や技能を理解することができる。【中2段階Aイ(ア)】</p> <p>(思・判・表)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表することができる。【中2段階Cイ】</p> <p>(学・人)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを発表することができる。</p>	<p>(知・技)職業生活に必要な知識や技能を理解することができた。</p> <p>(思・判・表)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表することができた。</p> <p>(主学)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを発表することができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>反省会 (12月)</p>	<p>・二学期の反省会</p> <p>・二学期の振り返り、発表</p>
3 学 期	54	<p>(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を身に付けることができる。【中2段階Aイ(ア)】</p> <p>(思・判・表)職業生活に必要な健康管理について考えることができる。【中2段階Aイ(イ)】</p> <p>(学・人)安全かつ効率よく作業ができるよう工夫することができる。</p>	<p>(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を身に付けることができた。</p> <p>(思・判・表)職業生活に必要な健康管理について考えることができた。</p> <p>(主学)安全かつ効率よく作業ができるよう工夫することができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>野菜や花の栽培及び販売 (キャベツ、ブロッコリー、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ガザニア、サルビア等) (1~2月)</p> <p>野菜の栽培(ピーマン、ナス、オクラ等) (2~3月)</p> <p>校内実習 (1月)</p>	<p>・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認)</p> <p>・野菜の肥培管理 定植、灌水、施肥、除草</p> <p>・野菜の収穫及び販売準備 収穫、計量、袋詰め、販売</p> <p>・花の栽培 播種、鉢上げ、定植、施肥、観察</p> <p>・販売学習 接客マナー、金銭学習</p> <p>・緑化活動 草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水</p>
		<p>(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を身に付けることができる。【中2段階Aイ(ア)】</p> <p>(思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。【中2段階Aイ(イ)】</p> <p>(学・人)進んで作業に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技)作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができた。</p> <p>(思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができた。</p> <p>(学・人)進んで作業に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>分担区清掃(1~3月)</p>	<p>・清掃用具の扱い方</p> <p>・清掃方法について</p> <p>・トイレ清掃</p> <p>・廊下清掃</p> <p>・教室清掃</p>
		<p>(知・技)職業や進路に関わることについて調べて、理解することができる。【中2段階Cア】</p> <p>(思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中2段階Aイ(イ)】</p> <p>(学・人)売上金を活用して買い物学習に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技)職業や進路に関わることについて関心をもったり、調べることができた。</p> <p>(思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができた。</p> <p>(主学)売上金を活用して買い物学習に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>身近な職業について③ (3月)</p>	<p>・身近な職業とこれまで学習したことの関わりについて</p> <p>・買い物学習</p>
		<p>(知・技)職業や進路に関わることについて調べて、理解することができる。【中2段階Cア】</p> <p>(思・判・表)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表することができる。【中2段階Cイ】</p> <p>(学・人)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを発表することができる。</p>	<p>(知・技)職業や進路に関わることについて調べて、理解することができた。</p> <p>(思・判・表)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表することができた。</p> <p>(主学)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを発表することができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>反省会 (3月)</p>	<p>・三学期の反省会</p> <p>・一年間の振り返り、発表</p>
		総時 数	210		

令和6年度 中学部3年(Ⅱ課程)職業科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者			
6	中学部3年Ⅱ課程	仲宗根 正			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。【中2段階】 (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。【中2段階】 (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。【中2段階】					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)働くこと目的などを理解することができる。【中2段階A(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【中2段階A(イ)】 (学・人)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階A(ウ)】	(知・技)働くこと目的などを理解しようとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(4月~7月) ・ミーティング ・将来の生活 ・いろいろな職業	○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。【中2段階A(ア)①】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表することができる。【中2段階A(イ)②】 (学・人)木工品製作に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階A(ウ)】	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表しようとしている。 (主学)木工品製作に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品製作 ・なべ敷き(4~5月) ・ミニス(6~7月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など) ○すず落とし
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。【中2段階B(ア)】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。【中2段階B(イ)】 (学・人)コンピュータ等の扱いに達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階A(ウ)】	(知・技)コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れようとしている。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現しようとしている。 (主学)コンピュータ等の扱いに達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、情報機器の操作等	情報機器の活用 ・出席管理(4~7月) ・情報検索(4~7月) ・学習記録(7月)	○iPadで出席入力(日直) ○製作に関する資料検索 ○製作品の撮影等
2 学期	84	(知及技)働くこと目的などを理解することができる。【中2段階A(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【中2段階A(イ)】 (学・人)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階A(ウ)】	(知・技)働くこと目的などを理解しようとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(9月~12月) ・ミーティング ・将来の生活	○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。【中2段階A(ア)①】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて発表することができる。【中2段階A(イ)②】 (学・人)木工品製作に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階A(ウ)】	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて発表しようとしている。 (主学)木工品製作に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品の製作 ・鉢かけ(9~10月) ・ワゴンラック(10~12月) ・小物入れ(11~12月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など) ○すず落とし
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。【中2段階B(ア)】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。【中2段階B(イ)】 (学・人)コンピュータ等の扱いに達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階A(ウ)】	(知・技)コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れようとしている。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現しようとしている。 (主学)コンピュータ等の扱いに達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、情報機器の操作、作成物等	情報機器の活用 ・出席管理(9~12月) ・情報検索(9~12月) ・学習記録(12月) ・販売に向けて(12月)	○iPadで出席入力(日直) ○製作に関する資料検索 ○製作品の撮影等 ○販売用ポスター等作成
3 学期	54	(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができる。【中2段階A(ア)①】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表することができる。【中2段階C(イ)】 (学・人)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。【中2段階A(イ)②】	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解しようとしている。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表しようとしている。 (学・人)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。 【評価資料】 活動の様子、タイムカード、実習日誌等	校内実習(10月) ・事前学習 ・木工品制作 ・事後学習	○校内実習について ○木工品製作 ○販売準備 ○事後学習
		(知及技)働くこと目的などを理解することができる。【中2段階A(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【中2段階A(イ)】 (学・人)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階A(ウ)】	(知・技)働くこと目的などを理解しようとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(1月~3月) ・ミーティング ・将来の生活	○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。【中2段階A(ア)①】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表することができる。【中2段階A(イ)②】 (学・人)木工品製作に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階A(ウ)】	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表しようとしている。 (主学)木工品製作に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品の製作 ・ワゴンラック(1~3月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など)
総 時数	210	(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができる。【中2段階A(ア)①】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表することができる。【中2段階C(イ)】 (学・人)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。【中2段階A(イ)②】	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解しようとしている。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関することと自己の成長などについて考えて、発表しようとしている。 (学・人)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。 【評価資料】 活動の様子	校内実習(1月) ・職業・家庭成果発表会(生産物販売)	○販売準備 ○生産物販売 ○事後学習
		※生徒の興味関心や学習の進捗状況に応じて、木工品の製作を校内美化やリサイクル活動に置き換えて実施する。 ※将来の職業生活や家庭生活を意識できるような活動を適時取り入れる。			

令和6年度 中学部 3年（Ⅱ課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数		対象生徒		担当者	
35		中学部3年Ⅱ課程		岸本 鈴香	
年間目標		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	C 主として集団や社会との関わりに関する事 ・父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること【家族愛、家庭生活の充実】	・自分の家族について知り、家族で協力し合うことの大切さに気づくことができる。 ・感謝の気持ちを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・家族について考える。 ・母の日、父の日（4月）	・自分の家族について知り、周りに紹介する。 ・楽しい家庭をつくることのよさに気づき、自分のできることや家族との関わりかたを考える。
		C 主として集団や社会との関わりに関する事 ・我が国や郷土の伝統と文化を大切し、国や郷土を愛する心をもつこと。【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	・沖縄戦や郷土の歴史を学習し、戦争や命の尊さ、郷土の文化について考えている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・沖縄戦 ・平和学習 ・平和学習 よりよく生きる喜び（5～6月）	・平和学習 ・慰霊の日に向けて沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や、命の大切さについて再確認する。 ・復帰記念日に向け沖縄の歴史を学び、自らの生きる地域社会について興味をもつ。
		B 主として人との関わりに関する事 ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。【礼儀】	・敬語や丁寧語について知り、自ら考え使おうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「丁寧な言葉づかい」 ・ビジネスマナー（7月）	・TPOによって言葉を使い分けることの大切さを知る。 ・ビジネスマナーについて知る。
2 学期	17	C 主として集団や社会との関わりに関する事 ・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。【よりよい学校生活、集団生活の充実】	・集団での活動の意義や自身の役割について学習している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・修学旅行の計画をたてよう ・集団行動に取り組む ・テーブルマナー よりよい学校生活、集団生活の充実（9月）	・修学旅行へ向けて ・学年活動を通じた行動を振り返る。学年単位のアクティブラーニングにより集団活動の意義を理解する。
		C 主として集団や社会との関わりに関する事 ・他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。【国際理解、国際親善】	・世界の困難な状況の人について考え、教師の問いかけに対し、思いを伝えている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・エイズについて考える ・世界の状況について知る 公正、公平、社会正義（11～12月）	・世界エイズデー ・「国際エイズデー」から人権や思いやりへ内容を深め学習する。
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事 ・命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。【生命の尊さ】	・命が尊いものであることに気づくことができる。 ・いじめについて考え、善悪の判断を自信をもって行おうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・大切な命 ・2学期のふりかえり ・いじめについて考えよう（12月）	・いのちについて考える ・2学期をふりかえる ・いじめアンケートの実施。いじめについて考える。（学部集会）
3 学期	8	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事 ・自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。【自然愛護】	・SDGsについて学び、自身の生活について考えている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	感動、畏敬の念（1～2月）	・SDGsを通して、環境問題について学びを深める。
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事 ・美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。【感動・畏敬の念】	・「美しさ」について考え、ワークシートに記入している。 ・「花さき山」を読んで、美しいものに感動する気持ちについて考える。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「花さき山」【絵本】（3月）	・「花さき山」を読んで、主人公あやの気持ちや行動について考える。 ・自分の身近にある「美しいもの」について考える。
総時数	35				

令和6年度 中学部 3年（Ⅱ課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
35	中学部3年Ⅱ課程	新里 夏菜

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に係る概念を形成し、探究的な学習の良さを理解できるようにする。(知及技) ・実社会や実生活の中から疑問を見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができるようにする。(思判表力) ・探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。(学・人)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)学級や学年の仲間に関心を持って話を聞くことができる。 (思判表力)自分の好きなことや得意なことをまとめ、相手に伝えることができる。 (学・人)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶことができる。	(知・技)学級や学年の仲間の話や発表を静かに聞き、相手のことを知ろうとすることができた。 (思・判・表)まとめたものを相手に伝えたり、表現しようとすることができた。 (主学)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぼうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「学級開き」(4月)	・先生の紹介 ・自己紹介
		(知及技)係や当番のやり方や活動の流れを理解し、取り組むことができる。 (思判表力)係決めなどの話し合いの場において自分の意見や考えを発表することができる。 (学・人)自分や仲間と相談し、協力して活動できる。	(知・技)係や当番のやり方や活動の流れを理解し、取り組むことができた。 (思・判・表)係決めなどの話し合いの場において自分の意見や考えを発表することができた。 (主学)自分や仲間と相談し、協力して活動できた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「教室環境を整えよう」(4月)	・係決め ・掲示物作成
		(知及技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について知る。 (思判表力)自分の長所や課題について考え、目標を設定することができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知及技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について知ることをできた。 (思判表力)自分の長所や課題について考え、目標を設定することができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「1学期の目標をたてて、皆の前で発表しよう」(5月)	・1学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知及技)校外における規律やマナーを知り、実践することができる。 (思判表力)集団行動の在り方について考えたり、共に協力し合ったりすることができる。 (学・人)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)校外における規律やマナーについて知り、実践することができた。 (思・判・表)集団行動の在り方について考えたり、共に協力することができた。 (主学)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「集団行動をしよう」(5月、6月)	・校外学習
		(知及技)これまでの生活を振り返り、自分の長所や短所、好きなことなどを確認することができる。 (思判表力)自分の長所や短所を理解し、まとめることができる。 (学・人)活動に進んで参加し、自らの進路について興味をもつことができる。	(知・技)これまでの生活を振り返り、自分の長所や短所、好きなことなどを確認することができた。 (思・判・表)自分の長所や短所を理解し、まとめることができた。 (主学)活動に進んで参加し、自らの進路について興味をもつことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「キャリアパスポート作成、自分の進路について考えよう」(7月)	・高等部卒業後の生活をイメージする。 ・高等部の先輩の進路先 ・写真やスライドなどで、これまでの活動を振り返る。 ・キャリアパスポート作成
		(知及技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について知ることをできた。 (思判表力)学期においてできるようになったことや課題について考え、設定した目標を評価することができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について知ることをできた。 (思・判・表)学期においてできるようになったことや課題について考え、設定した目標を評価することができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「1学期を振り返ろう」 「夏休みの過ごし方について」(7月)	・スライドで1学期を振り返る。 ・1学期の自分の目標を振り返る。 ・夏休みの過ごし方
2 学期	14	(知及技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について知る。 (思判表力)自分の長所や課題について考え、目標を設定することができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知及技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について知ることをできた。 (思判表力)自分の長所や課題について考え、目標を設定することができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「2学期の目標をたてて、皆の前で発表しよう」(9月)	・2学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知及技)校外における規律やマナーを知り、実践することができる。 (思判表力)集団行動の在り方について考えたり、共に協力し合ったりすることができる。 (学・人)地域社会に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)校外における規律やマナーについて知り、実践することができた。 (思・判・表)集団行動の在り方について考えたり、共に協力することができた。 (主学)地域社会に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「集団行動をしよう」(10月)	・校外学習 ・身近にある施設や職業について調べてみよう。 ・調べた情報を実際に見に行こう。
		(知及技)情報収集の方法について知り、必要な情報を集め、まとめることができる。 (思判表力)旅行・集団宿泊的行事に取り組むために必要な課題について考え、調べ学習や話し合いによって解決することができる。 (学・人)学習に主体的・協動的に取り組むことができる。	(知・技)文化や社会に親しむことの意義を理解することができた。 (思・判・表)旅行・集団宿泊的行事に取り組むために必要な課題について考え、調べ学習や話し合いによって解決することができた。 (主学)学習に主体的・協動的に取り組むことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「修学旅行事前学習」 「修学旅行事後学習」(10月～12月)	・修学旅行先の情報収集 ・収集した情報をまとめる(新聞、スクラップなど) ・修学旅行後の体験や内容をまとめる

		(知・技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について知ることができた。 (思・判・表)学期においてできるようになったことや課題について考え、設定した目標を評価することができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について知ることができた。 (思・判・表)学期においてできるようになったことや課題について考え、設定した目標を評価することができる。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「2学期を振り返ろう」 「冬休みの過ごし方について」 (12月)	・スライドで2学期を振り返る。 ・2学期の自分の目標を振り返る。 ・冬休みの過ごし方
3 学 期	9	(知・技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について知る。 (思・判・表)自分の長所や課題について考え、目標を設定することができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知・技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について知ることができた。 (思・判・表)自分の長所や課題について考え、目標を設定することができる。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「3学期の目標をたてて、皆の前で発表しよう」(1月)	・3学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知・技)これまでの活動内容を振り返り、自分の好きなこと、得手不得手について整理し、まとめることができる。 (思・判・表)自分の好きなことや得意なことをまとめ、評価することができる。 (学・人)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶことができる。	(知・技)これまでの活動内容を振り返り、自分の好きなこと、得手不得手について整理し、まとめることができる。 (思・判・表)自分の好きなことや得意なことをまとめ、評価しようとする。 (主学)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぼうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「キャリアパスポート、振り返り、評価しよう」(2月)	・3学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知・技)入試の意味や取り組み内容について知り、模擬面接などを通して、適切な行動を身につけることができる。 (思・判・表)進路に対する自分の考えをまとめ、質問や課題に足して、自ら考え、判断して回答することができる。 (学・人)自分の考えを丁寧な言葉で伝え、相手の話をきちんと聞くことができる。	(知・技)入試の意味や取組内容を理解し、模擬面接などに適切に対応することができた。 (思・判・表)進路に対する自分の考えをまとめ、質問や課題に対して、自ら考え、判断して回答することができた。 (主学)自分の考えを丁寧な言葉で伝え、相手の話を聴くことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「進路学習」(2月)	・高校入試について ・模擬面接 ・模擬試験
		(知・技)1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、見通しを持ち次の目標を立てることができる。 (思・判・表)学習したことを振り返り次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知・技)1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、見通しを持ち次の目標を立てることができた。 (思・判・表)学習したことを振り返り次の課題にとり組もうとすることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「1年間を振り返ろう」 「春休みの過ごし方について」(2月)	・スライドで1年間を振り返り、次年度に向けての目標を立てる。
総 時 数	35				

令和6年度 中学部 3年（Ⅱ課程Aグループ） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数		対象生徒		担当者	
35		中学部3年Ⅱ課程		岸本 鈴香	
目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知・技)多様な他者と協働する様々な集団行動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団行動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めることができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動を振り返りなど	学期や学年の節目を迎えて(4月、7月)	・1学期始業式、終業式 ・入学式
		(知・技)健康の保持増進の意義を理解することができる。 (思判表力)自己の健康についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組むことができる。	(知・技)健康の保持増進の意義を理解している。 (思・判・表)己の健康についての課題や解決策について考えている。 (主学)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組もうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動を振り返りなど	健康な体をつくろう(5～7月)	・身体測定 ・耳鼻科検診 ・心電図、胸部X線検査 ・内科検診 ・歯科検診 ・視力検査
2 学期	14	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めることができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動を振り返りなど	学期の節目を迎えて(9、12月)	・2学期始業式、終業式
		(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解することができる。 (思判表力)安全についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返りながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解している。 (思・判・表)安全についての課題や解決策について考えている。 (主学)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返りながら、積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動を振り返りなど	・不審者が来たらどうやって身を守る？ ・地震、津波が来たらどうする？(10月)	総合避難訓練①不審者避難訓練 総合避難訓練②地震・津波避難訓練
		(知・技)心身の健全な発達や健康の保持増進、体育的な集団活動の意義を理解することができる。 (思判表力)健全に生活するために、運動することの良さについて考えることができる。 (学・人)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組むことができる。	(知・技)心身の健全な発達や健康の保持増進、体育的な集団活動の意義を理解している。 (思・判・表)健全に生活するために、運動することの良さについて考えている。 (主学)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組もうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動を振り返りなど	目標に向かって挑戦しよう(11月)	特別支援学校体育大会
3 学期	9	(知・技)文化や社会に親しむことの意義を理解することができる。 (思判表力)旅行・集団宿泊的行事において学校生活や事前学習で身に付けたことを活用することができる。 (学・人)日常とは異なる環境や集団生活において、文化や社会に関心を持つことができる。	(知・技)文化や社会に親しむことの意義を理解している。 (思・判・表)旅行・集団宿泊的行事において学校生活や事前学習で身に付けたことを活用できるように考えている。 (主学)日常とは異なる環境や集団生活において、文化や社会に関心を持っている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動を振り返りなど	日常とは違う経験を楽しもう(12月)	修学旅行
		(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として見通しを持って振り返りながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組むことができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として見通しを持って振り返りながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動を振り返りなど	学期や学年の節目を迎えて(1月、3月)	・3学期始業式 ・小、中、高等部卒業式 ・修了式
3 学期	9	(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解することができる。 (思判表力)安全についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返りながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解している。 (思・判・表)安全についての課題や解決策について考えている。 (主学)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返りながら、積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動を振り返りなど	火災が起きたら何をすべき？(2月)	総合避難訓練③火災避難訓練
		総時数 35			

令和6年度 中学部 3年（Ⅱ課程） 自立活動 年間指導計画

配当時数		対象生徒		担当者	
70		15名		岸本 鈴香	
年間目標		<p>・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を養う。</p> <p>・生徒の体の動きや保有する感覚、意思の表出の状態に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫し、有効的な活用を図る。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	評価規準	内容区分、項目	単元・題材の活動内容
1学期	24	<p>・成功体験の積み重ねや教師との信頼関係を築くことで情緒の安定を図り、自ら報告や相談ができる。</p> <p>・活動内容やスケジュールに見通しを持ち、落ち着いて行動できる。</p>	<p>・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。</p> <p>【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。</p>	<p>1 健康の保持</p> <p>(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること</p> <p>(2)病気の状態の理解と生活管理に関すること</p> <p>(3)身体各部の状態の理解と養護に関すること</p> <p>(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。</p> <p>(5)健康状態の維持・改善に関すること</p>	<p>「自立活動の時間における指導」の中で学習グループ全体で以下ア～ウの指導を年間を通して行う。</p> <p>ア 教師と内容を確認したり、気持ちを整理することを通して、不安や疑問、困ったことを言語化できるようにする。【心(1)、人(1)(2)、コ(1)】→日記や手紙、作文</p> <p>イ 朝の時間帯で白板へのスケジュール記入や日程の把握、準備物の確認をする。【人(1)(2)、環(1)、コ(1)(2)】→日課の記入（連絡帳、白板など）</p> <p>ウ 話したい内容を短い文章にまとめ、適切な言葉で表現することができるよう会話しながら引き出していく。【心(2)、人(1)(4)、コ(1)(3)】→朝の会出来事発表、簡単なおつかいなど</p>
2学期	28			<p>2 心理的な安定</p> <p>(1)情緒の安定に関すること。</p> <p>(2)状況の理解と変化の対応に関すること。</p> <p>(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服すること。</p>	
				<p>3 人間関係の形成</p> <p>(1)他者との関わりの基礎に関すること。</p> <p>(2)他者の意図や感情の理解に関すること。</p> <p>(3)自己の理解と行動の調整に関すること。</p> <p>(4)集団への参加の基礎に関すること。</p>	
3学期	18	<p>・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。</p> <p>【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。</p>	<p>4 環境の把握</p> <p>(1)保有する感覚の活用に関すること。</p> <p>(2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。</p> <p>(3)感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。</p> <p>(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。</p> <p>(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。</p>	<p>5 身体の動き</p> <p>(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。</p> <p>(2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。</p> <p>(3)日常生活に必要な基本動作に関すること。</p> <p>(4)身体の移動能力に関すること。</p> <p>(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。</p>	
			<p>6 コミュニケーション</p> <p>(1)コミュニケーションの基本的能力に関すること。</p> <p>(2)言語の受容と表出に関すること。</p> <p>(3)言語の形成と活用に関すること。</p> <p>(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。</p> <p>(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。</p>		
総時数	70				